

令和7年度 事業報告

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで

I 概 要

我が国の情勢は、大雨等の自然災害や長引く物価の高騰により日常生活に様々な影響を及ぼしました。また、依然として人口減少と少子高齢化が進行しており社会の担い手となる労働力の減少など人手不足感は以前より強まっています。

一方、シルバー人材センターに目を向けると、フリーランス新法（改正特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）の施行により、シルバー人材センター会員はフリーランスとして位置づけられ、請負契約について、新たな契約方法（包括的契約）に変更することを求められるなど、取り巻く環境は変化しています。

このような状況の中、当センターでは、フリーランス新法に基づく新契約にいち早く移行するとともに、中期基本計画の基本方針及び令和7年度事業計画に則り、①会員の増強及び広報活動の促進 ②ボランティア・イベント活動の推進 ③就業先の確保及び派遣事業の拡大 ④安全・適正就業の徹底 ⑤研修会・講習会等の開催 ⑥運営基盤の強化及び組織の充実を柱に事業を展開してまいりました。

なお、基本方針の事業実績につきましては、「Ⅱ 詳細」として後述のとおりであります。特に主な項目として、まず、会員の増強につきましては、市広報に会員募集の記事掲載・センターのチラシの全戸配布、入会説明会の随時開催、更に保留会員の入会登録を行いました。その結果、44名の入会説明会の申込みがあり、35名の入会がありました。

次に安全・適正就業の徹底につきましては、全国で多数発生している刈払い機による飛石事故防止を目的に、「歩行型草刈機安全講習会」及び「草刈機安全講習会」を開催し、安全意識の向上と注意喚起を行いました。

総合的な事業実績としては、会員数307名（男211名、女96名 令和7年度末現在）で前年度比4%の増となりました。

請負業務においては受注件数1,732件（前年度比6.6%減）、受注総額164,217,121円（前年度比9.4%減）うち受取センター業務委託料は17,212,202円、就業実人数233名（前年度比4.1%減）でありました。

また労働者派遣事業につきましては、請負業務から労働者派遣へ切り換えた結果、受注件数55件（前年度比120%増）、受注総額31,562,099円（前年度比102.9%増）、うち受託収益2,872,464円（前年度比118.8%増）、就業実人数43名（前年度比48%増）でありました。事業全体としては、請負業務、労働者派遣業務合わせて、受注総額195,779,220円（前年度比0.5%減）で前年度を若干下回る結果となりました。

収益では前年度を下回ったものの、フリーランス新法による契約形態の変更により消費税及び地方消費税納付額が大幅に圧縮されたことを主要因として収支全体では正味財産が増加いたしました。

一方、安全面においては賠償事故3件、傷害事故5件と前年度より事故件数が減となりました。これも会員一人一人が常に「安全就業」を心掛けながら就業している結果と思われます。次年度以降も「安全」を第一に市民の皆様から親しまれるセンターを目指して事業を展開してまいりたいと思います。

以上、令和7年度の事業の概略を申し上げ、改めて会員、関係機関及び市民の方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

Ⅱ 詳 細

（１） 会員の増強及び広報活動の促進

- ① 市広報への会員募集の記事掲載及び広報会員拡大委員会を中心に「新規会員募集」チラシを作成し、市内に全戸配布しました。
- ② 女性会員の増強、女性会員同士の親睦を図るため女性活躍委員会を中心に「ひまわりクラブ」主催の交流事業を年3回開催しました。
- ③ 入会説明会の随時開催、また会員による「口コミ」による会員入会の勧誘を継続的に推奨しました。

（２） ボランティア・イベント活動の推進

- ① 5月に市役所前庭の松の剪定ボランティアを行い、植木班片付け班19名の協力をいただきました。
- ② 10月に「街なか清掃」を開催したところ50名の参加をいただき、市内のゴミ拾い清掃及びセンターのPR活動を行いました。
- ③ 「第11回シルバー人材センターまつり」を羽生市民プラザで開催し、実行委員会、協賛企業並びに関係機関の多大なご協力のもと、332名のご来場をいただき市民の方と交流を図り併せてセンターのPRに努めました。

(3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大

- ① 広報・会員拡大委員会が主体となり会員向けの「ひまわり通信」を年4回発行しセンターの情報を定期的に発信しました。
- ② ホームページの随時更新を行い、センターの最新の情報発信に努めました。
- ③ 会員の高齢化に伴い、屋外作業において業務を効率的に請け負えるよう機具の機械化を検討しました。
- ④ 「適正就業ガイドライン」に基づき契約内容を精査し、請負契約から派遣契約へ6業務の切替えを行いました。

(4) 安全・適正就業の徹底

- ① 「事故ゼロ」を目標に、7月～10月の間に安全・適正就業巡回パトロールを実施しました。(巡回箇所数39箇所 巡回延べ人数107人)
年間の賠償事故3件 賠償総額512,600円(前年度賠償事故3件 賠償総額74,140円) 傷害事故5件(前年度傷害事故6件)でありました。
- ② 会員へ「安全・就業ニュース」の配布、また SNS を利用し安全(熱中症予防・事故予防)に関する注意喚起を行い、安全就業に対する意識向上を図りました。
- ③ 「ひまわり通信」において、会員の健康管理の一環として羽生市が実施する各種健康診査及びがん健診の受診についての記事を掲載し、及び羽生市が作成したチラシを同封し受診を推奨しました。

(5) 研修会・講習会等の開催

- ① 全国のシルバー人材センターで発生している草刈り業務における飛石による事故の対策として「歩行型草刈機安全講習会」及び「草刈機安全講習会」を実施しました。
- ② 会員にデジタル化を推進するにあたり、Smile to Smileを導入するため登録会を実施しました。

(6) 運営基盤の強化及び組織の充実

- ① 各委員会(安全・適正就業推進委員会、広報・会員拡大委員会、女性活躍委員会)を定期的に開催し、活発な意見交換を行いました。
- ② 役職員のスキルアップを図るため(公財)いきいき埼玉等が主催の講習会や研修会への参加、また東部ブロック圏域での事務局長会議及び職員事務連絡研究会への参加により近隣のシルバー人材センターとの研修・情報

交換を行いました。

- ③ センター事務所老朽化に伴う新事務所建設に向け建設資金の積立を当初の計画どおり行いました。
- ④ 物価高騰や事務所新規取得積立金の確保に対応するため経費節減に努め併せて令和8年4月から事務費を12%から15%に改定するため、諸般の準備を行いました。